

鳴門市鳴門中学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための学習指導の在り方  
 ①基礎的・基本的な知識・技能を伸ばし、個に応じた指導を充実させる。  
 ②自分の課題を見つけ、対話的な活動を通じて解決していく態度を育成する。

学力向上検討委員会構成

- 学力向上推進員 委員  
 校長:三原靖彦 教頭:森 義雄  
 森本 千晶 教務主任:徳永政信 研修主任:加藤由起子  
 加藤由起子 1学年主任:福井英子 2学年主任:志磨智恵子 3学年主任:榎村光世

校長

三原 靖彦 印

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)   | 具体的目標(目指す子供の姿)  | 具体的方策(教員の取組)  | 中間期の見直し | 達成状況(評価)  | 次年度における改善事項  |
|--|---|---|---------|---|--|
| ○指示された課題に対して真面目に取り組むことができる。<br>○3分前復習で、ワークなどを用いて知識の習得に努めている。<br>●学習内容の定着が難しい生徒がいる。 | ・授業に集中し、自分の力で問題を解こうとする。<br>・基礎・基本を確認する小テストで満点がとれるように努力する。<br>・ワーク等の課題を全員がやり遂げて、期限までに提出することができる。 | ・生徒が集中して取り組めるように、短時間ごとに区切って活動させるなどの授業展開を考える。<br>・基礎・基本を確認する小テストを行い、8割に満たない生徒には個別指導を行う。<br>・3分前復習の徹底を図る。 |         | ・3分前復習の徹底を図ることができなかった。<br>・指示された課題には黙々と取り組むが、指示がないと動けない生徒が数人いる。<br>・昨年度、提出物をほとんど出せなかった生徒が、今年度は提出するようになり、意識付けができた。 | ・3分前復習の意義を理解させ、自主的に取り組めるようにする。<br>・指示し、課題をする時間を設定し、今何をしているのかわかる授業展開にする。<br>・細かな指導や小テストを行うことで、基礎学力の定着を図る。 |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)   | 具体的目標(目指す子供の姿)   | 具体的方策(教員の取組)   | 中間期の見直し | 達成状況(評価)   | 次年度における改善事項   |
|--|--|--|---------|--|---|
| ○自分の考えを発言しようとする前向きに取り組もうとする生徒が多い。<br>○ペア学習や班活動などの話し合いでは、積極的に取り組める。<br>●考えを深めたり、まとめたりすることが難しい生徒もいる。<br>●発言する生徒に限られている場合がある。 | ・授業の中で、自分の考えを表現することができる。<br>・自分の考えを深めたり、他者に説明したりする活動に積極的に参加する。 | ・生徒が各自で課題を把握する時間を確保する。<br>・自分の考えたことを記述させることで、深めたり、比較したりさせる。<br>・自分の考えを表現したり、他者に筋道立てて説明する場面を設定する。 |         | ・級友の意見を聞き、手を挙げる生徒が増えた。<br>・すすんで話し合い活動に参加する意欲がある。また、ペア、班活動では、与えられた時間を有効に使って発言できている。<br>・記述が苦手な生徒も考えをまとめる活動をくり返し行うことで、少しずつできるようになってきた。 | ・発言だけでなく、ホワイトボードを使うなど発表方法を工夫することで、表現の場を広げる。<br>・1枚の紙に授業の前半の考えとまとめの考えを書き、どのように変化したのかわかるようなワークシートを使用する。<br>・発言する生徒を増やす活動内容の工夫をする。 |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)  | 具体的目標(目指す子供の姿)   | 具体的方策(教員の取組)   | 中間期の見直し | 達成状況(評価)   | 次年度における改善事項   |
|---|--|--|---------|--|---|
| ○声をかけあって集中して学習できる雰囲気を作ろうとしている。<br>○生徒会が企画した「授業3分前復習」に全校生徒で取り組むことができている。<br>●自ら課題を見つけて取り組むことが難しい生徒もいる。<br>●自主学習ノートが上手く活用できていない | ・3分前復習に意欲的に取り組むことができる。<br>・周囲と協力して、問題を解決することができる。<br>・自主学習ノートを活用して、基礎・基本の定着をはかる。 | ・短時間で取り組める学習方法や、効果的な復習方法を指導する。<br>・自主学習ノートの使い方を指導し、効果的に活用をさせる。 |         | ・3分前復習の徹底を図ることができなかったが、チャイムと同時に授業に集中して入ることができている。<br>・わからないところは、歩み寄って教え合いができています。<br>・グループ学習の中にも意見を言おうとする生徒が増えた。 | ・次時の3分前復習であることを伝えておく。<br>・自主学習ノートの使い方を各教科で教える。<br>・その日学習した内容を、自主学習ノートを使って徹底的に復習するように指導する。 |

令和3年度 学力向上ロードマップ

